

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急アンケート

結果報告

【調査概要】

●目的： 新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、市内の公共施設が休館になり、しかも再三延長されている影響を受けて、市民活動団体も活動の中止・延期や縮小を余儀なくされている。

そこで、今回の事態が市民活動にどのような影響を及ぼしているか、それに対して市民活動団体がどのような運営の工夫や配慮をしているか、今後の支援策などの要望を聞き取る。

そして、その結果を把握し今後の支援センターの事業に活かすと同時に、ホームページで公開することによって団体間で共有し、この先の活動へのヒントとしてもらう。

●対象： あすぴあ登録団体（132団体）および令和2年度版市民活動団体データ集『むすぶ』掲載団体（223団体）のうちメールのある団体 213団体

*あすぴあ登録団体と『むすぶ』掲載団体はダブリあり。

●方法： アンケート用紙および Google アンケートフォーム

●期間： 2020年4月3日（金）～7日（火）

●回答団体数： 78団体（回収率 36.6%）

〈補足事項〉

- ① 今回のアンケート調査は、回答期間が短いことから、メールアドレスがわからない団体は対象外とさせていただきます。なにとぞご了承ください。
- ② Google アンケートフォームに「Q6.」を入れ忘れてしまったため、回答結果は一部の団体から寄せられたものになっておりますことをお詫び申し上げます。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大状況とそれへの対処方法が日々変化しています。従って、アンケートに回答いただいた時点とこの結果が公開された時点では、言葉の持つ意味や重み、解釈のしかたが異なる可能性があることをお含み置きの上ご覧ください。

令和2年4月17日



小平市民活動支援センターあすぴあ

資 料

小平市民活動支援センターあすぴあ 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急アンケート

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、当センターでも休館期間を4月13日（月）まで延長させていただいておりますが、市民活動団体の皆様も活動の中止・延期や縮小を余儀なくされていることと思います。今回の事態は、人と人とのつながりを大事にするボランティア・市民活動にとって、それ自体がリスクになるという非常に厳しい対応を求められています。

そこで、今回の事態が市民活動にどのような影響を及ぼしているか、それに対して皆様がどのような運営の工夫や配慮をしているか、さらに今後の支援策などのアイデアを共有したいと思っておりますので、なにとぞご協力をお願いいたします。

【調査概要】

- 調査対象： あすぴあ登録団体および「むすぶ」掲載団体のうちメールのある団体
- 調査方法： アンケート用紙および Google アンケートフォーム
- 調査期間： 2020年4月3日（金）～7日（火）
- 調査結果の公表方法： 団体名を非公開にした上で、あすぴあホームページを通じて結果を公表予定
- 回答〆切： 2020年4月7日（火）

団体名： _____

連絡担当者： _____ 連絡先： _____

Q1. 貴団体の活動にどのような影響がありましたか（あてはまるもの全てに✓）

- a. イベントや講座等の事業を中止した
- b. 会議を延期・中止にした
- c. 参加予定のイベントが中止になった
- d. スタッフのシフトを調整した、あるいは派遣を中止した
- e. 利用者に利用をお断りした
- f. 在宅作業に変更した
- g. 業務のICT化が進んだ、あるいは導入を検討している
- h. 収入が減少した
- i. 特に影響はなかった
- j. その他 _____

Q2 それに対してどのような対応を行なっていますか？

（例）ホームページでイベント中止の告知をした、メーリングリストで会議メンバーに報告し意見交換をしている、など

Q3. 団体にとって、今後どのような影響があると予想されますか？また、それに対してどのような対策を講じようと考えていますか？

（例）予定していた事業スケジュールの見直し、収入減、人員の削減、など

Q4. 団体の活動再開の時期はいつごろを考えていますか？

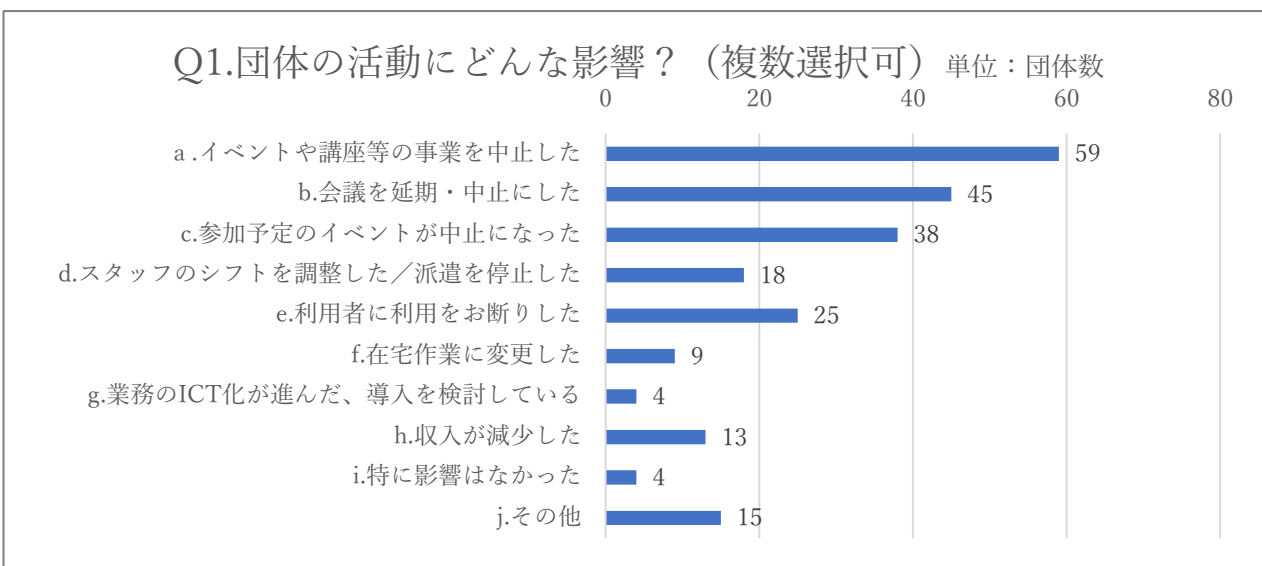
（例）公共施設が開館したら再開したい、秋のイベント開催に向けて準備している、など

Q5. 今回の件に関し、今後あすぴあ等によるサポート内容について必要と考えるものがあればご記入下さい

Q6. その他、今回の新型コロナウイルス感染拡大について、団体として気になっていることなどをご記入ください。

Q1.貴団体の活動にどのような影響がありましたか(あてはまるもの全てに✓)

7割以上の団体が事業を中止、5割以上の団体が内部の会議を延期もしくは中止したほか、2割弱の団体では収入の減少もあったようです。



〈j.その他への記述〉

・プログラムを縮小したり、ボランティアの方の活動を遠慮していただいた。(ボランティアの方が70歳以上の方が半数以上だったため。)

・保育事業については、衛生面の再確認や、病児保育の制限などおこなった。

・3月はじめから完全にオンラインでの開催にして、活動回数を月2から毎週に増やした。

・活動全てを自粛しています。

・場所の移動のタイミングと重なった為、比較的影響は少ない。

・事務作業・業務連絡・予定外出費が増加した。

・3月から市内の公共施設が休館・使用禁止になり、予定の13行事が中止・延期になりました。

・ボランティアマジックが軒並み中止。練習日も中止に。

・形態を変えて開催した。

・サークル活動休止を会員に連絡した(2件)

・ミーティングの会場を変更した。

・定例会の開催が公共施設を使用できない。

・利用者さんと相談の上、休止となったケースがある。

Q2.それに対してどのような対応を行なっていますか？

団体内の連絡はメール・LINE や電話で、外部向けにはホームページやブログ・Facebook 等の SNS を使ってイベント中止などの告知をしたことがわかりました。また、会議については、ZOOM や LINE グループビデオ、スマホなどの新しいツールを使って行いつつあるようです。いずれにしても、団体内のメンバーや利用者の気持ちが途切れないように、様々な工夫と努力をしていることがわかりました。

- ・ 今後、blog と Facebook にて告知予定
- ・ 会の役員にイベントの中止を知らせた（複数回）
- ・ HP にてのお知らせ、メンバーへの一斉メール
- ・ イベント、毎回のクラスの中止の告知をメールで実施。クラスに関しては各家庭とのつながりを大切にするためにお手紙などを郵送した。会議をネット（ズーム）で行った。
- ・ 津田公民館が休館となり、ホールを使用できない為活動停止し、コロナが収まるのを待つのみです。
- ・ メールリングリスト、電話、メール、LINE など相手に合わせたツール
- ・ 参加予定の方にはメール連絡をして中止をお伝えした。メンバー間では LINE グループで、情報共有している。
- ・ E-mail にて会員に中止等を告知している、会議はそれで代用出来ても、放課後こども教室支援が活動であるが、学校にメンバーを派遣できない。
- ・ 電話、メール、LINE 等で行っている。
- ・ 会議メンバーにメールや電話で相談、連絡した
- ・ ホームページで開催中止の告知を行った。
- ・ メールで必要な連絡や情報交換を行っている。
- ・ 修理依頼済みのユーザーには SNS にて通知、一般向けには HP で告知
- ・ 通常より、SNS,HP,ビデオ会議等々を利用しているので、通常通り
- ・ Facebook メール LINE などで、中止の連絡をした。ZOOM やライングループビデオで急遽会議をした。
- ・ ブログでのイベント中止の告知 会議はメールで意見交換や延期
- ・ 人数が少ないため全員に中止を通知した。パソコンの塾なので対面が必要なので遠隔指導は難しい。
- ・ メールで各人に中止の連絡をした。
- ・ メールリングリストで会員に延期或いは中止を知らせました。
- ・ スマホ会議の導入検討中。
- ・ 登録メンバーに中止を知らせた。
- ・ 市民フォーラムの中止で後援名義の使用許可を頂いた市役所、商工会、社会福祉協議会をはじめ、協賛名義の使用許可を頂いた N P O 小平市民活動ネットワーク、（社）小平 F M ネットワーク、N P O 小平シニアネットワーク、熟年いきいき会、小平 F M 懇話会等をはじめ中央公民館等へ電話や直接訪問して中止の告知をしました。また、秘書課広報に依頼して市役所ホームページにも中止を掲載して頂きました。
- ・ H P とメールで告知しています。

・関係者へ郵送及びホームページで中止等の告知を行った。

・関係者各位に通知を徹底した。

・ホームページでイベント中止の告知をした。メーリングリストで会議メンバーに報告し意見交換をしている

・HPで告知したり、イベント当日に中止となった会場前にスタッフが立ったり、事務連絡文書を作成して急送したりしました。

・5月7日のコンサートの開催を中止しました。HPにて開催中止を掲示しています。

・ホームページなどで交流会の中止を告知した。

・中止した

・SNSに中止を告知した

・一斉メールで中止の案内をした。

・メーリングリストとSNSで告知、連絡手段を増やした（LINEのオープンチャットを開設）。

・メールを利用して連絡等を行った。

・参加予定のイベントの中止があった

・メーリングリストで報告し、意見交換をしている

・ラインで連絡

・常連の利用者さんには直接電話をかけて中止の連絡をした。メンバー同士はメールでやり取りをしている。

・ホームページでの中止の告知、会員様へのメール連絡等の対応を致しました。

・HPで、しばらくの期間、活動休止する旨を告知した。

・夜回り活動、高齢者向けサギ被害防止のチラシ作成・届は通常通りに実施中。

・講演会（他団体と共催）の中止は、参加者に電話や文書にて知らせた。移動支援（ガイドヘルプ）については長時間の外出は取りやめ、短時間（1~2時間）と計画変更のお願いをした

・メーリングリストでの告知、PCの貸与、リモート会議

・ホームページで周知

・会議中止は、メーリングリストで連絡。必要に応じてメールでやりとりしています。

・ホームページおよび必要に応じて電話連絡等行い、イベントや利用中止をお伝えした。

・クラウドの利用等を検討している。

・ご家族、関係者には文書による情報提供および活動報告等を行い、質疑等には電話で直接の対応を行なっている。

・メーリングリストで会議の中止を連絡。

・利用者に電話などで連絡。

・団体が開示しているHPに大会中止のお知らせ文を掲載、大会申込者へ参加費の返還手続き（直接返却処理）、団体理事に対して、定例理事会等の開催中止をメールにて連絡

・HPやSNSで中止のご案内や臨時休業のお知らせをしている。活動を薄れさせないように、又笑顔になってもらえるようにお客様先に手作りの贈り物をした。アポ先に資料を郵送。

・メール交換・電話で情報交換している。

・参加の方に中止の都度、連絡を回しました。

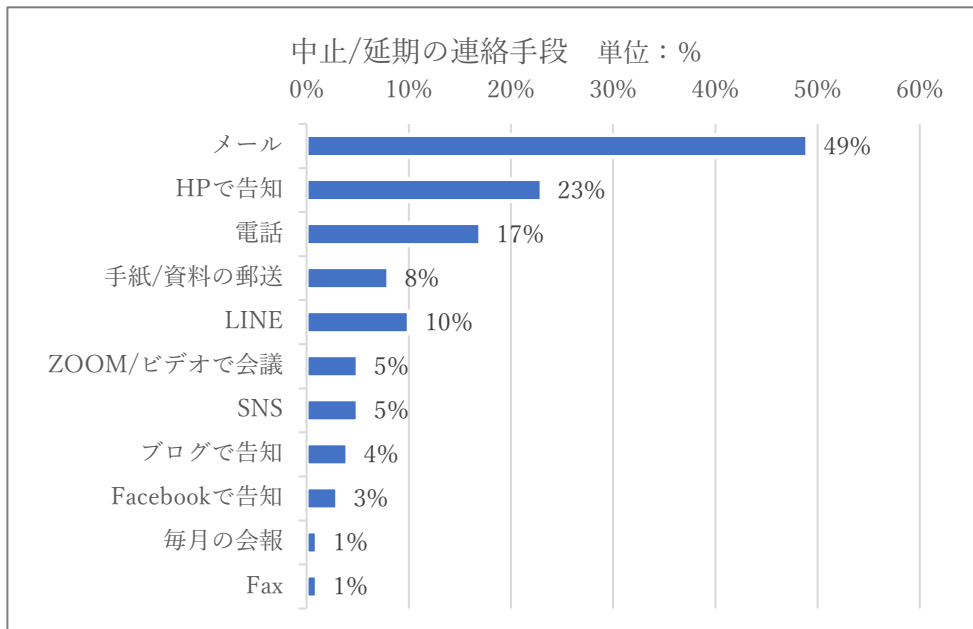
・メールでの集まりと今回は決めていたので特に問題はなかった

・月1回発行している会報。メールなど

- ・役員で相談し会員に手分けして催事の中止など連絡した
- ・メール・FAXなど
- ・ホームページ、メーリングリストで告知。プレーパークの時に検温と消毒をお願いした(3月) 4月は中止。
- ・子ども食堂は3月中止、4月はテイクアウトにした。臨時に昼食用のお弁当 30食を2回やった。
- ・職員周知用の書類を作成し、回覧している。
- ・支部会員への電話やメールでの連絡。
- ・4/24 JICA 見学を予定しているのですが中止になるかもしれません。
- ・会員に分担してその都度電話で活動の延期を連絡。今まで実施した問題を消して、家でトレーニングをするようお願いした。
- ・2月26日全会員に「コロナウイルスに対する行動指針」を伝える。3月28日「コロナ騒動の収束まで集会を中止・延期する」理事会決

定事項を伝えた

- ・メールを活用して情報交換を行っている。
- ・メールで連絡した。
- ・メールで連絡した/少人数で会った
- ・メールにて参加メンバーに連絡。施設でのサービス中止の際もメールや電話で訪問ヘルパーに中止連絡。
- ・メンバーの仕事場を借りて開いた。メーリングリストで情報共有、意見交換している。
- ・LINE やメールでサークル活動の休止を連絡した
- ・LINE や団内専用ブログですべての情報をアップして共有している。スカウトたちには活動ができないため指導者からあらゆる手段で送信している。
- ・定例会、その他(業務に関する会議)の中止に伴いメンバーからの意見をメールにて吸い上げている



※ZOOM はインターネットによるビデオ会議サービスです。在宅でのテレワークとしてパソコン、スマホ、タブレットにより無料で使用できます。

Q3. 団体にとって、今後どのような影響があると予想されますか？ また、それに対してどのような対策を講じようと考えていますか？

3-1. どのような影響？

大半の団体が、予定していた事業や活動の延期・中止・制限・自粛、団体内の会議の延期や中止、会報発行の延期など、あらゆる計画が頓挫し、計画の見直しに迫られています。また年度末のため、総会関連の事務作業が滞っていることが伺えます。事業系の団体にとっては、今回の事態が収入減に直結していて、人員の削減とそれによる他の職員の業務量が増えているようです。また、団体の活動ができなくなったことで、解決したい課題の対象者の精神的ストレスを心配する声も聞かれました。

3-2. それに対する対策は？

状況改善を待ちつつ、メールやブログ等で関係者への連絡を密にしたり、制限がある中でも知恵を絞って他の形態で活動を続けていたり、次に向けての方策を検討したり、また活動再開時に必要な感染防止策の備えをしつつあるようです。

- ・ 予定していたイベントの組み直し
- ・ 会報発行・会議の延期など
- ・ 予定事業のキャンセルや延期、小/中学生への学習支援や今後の予想が立たない精神的な不安定さへのサポート、親支援の日程キャンセル、一部収入減少、
- ・ 予定していた今年度前半のクラス開催の中止、それに代わる子どもたちへできることを今考えています。
- ・ 市民学習奨励学級の後、新入会員が多数入会したばかりだった為、人数の減少が心配です。
- ・ ヘルパー派遣が主な業務なので、事業停止が最悪の想定です
- ・ 話す(離す)場がないことでの心的ストレス。
- ・ 放課後こども教室支援、つまり、子供と一緒にやるのが活動、学校の判断次第となる。基本的にはCOVITが終息しないと活動は出来ないか或いは制限される。ボランティア活動なので基本的には収入はあてにしていない。
- ・ 本年度の活動計画立案不可。
- ・ 活動の自粛(閉所)。その際にはリーチアウトを徹底すること、食糧の備蓄を行い、登録者に配布できるように準備している。また、事業所内での活動は難しくても、少人数のグループで外を散歩する等の活動を考えている。
- ・ メンバーが高齢化しているため、再開の時期については慎重にならざるを得ない。総会や講演会などの開催についての目途もたたず、この先活動が継続できるのかも不安な状況です。
- ・ イベント等の変更
- ・ 講座の安定・安全開催を懸念している。スケジュールの変更、オンライン化。収入減。
- ・ 6月のイベント内容の見直し
- ・ 状況が改善するのを待ちます。
- ・ 活動ができず、ストレスがたまる。
- ・ 私たちの団体は今後もそれほど影響がないと思われます。ただ、会員同士のつながりを保つために、メーリングを利用して、励まし合って再開を待ちたいと思います。
- ・ ガイドヘルプ等のキャンセル対応、ヘルパーの賃金保障のための方策検討中、感染防止策の徹底
- ・ 未就園児は友達遊びができず、成長過程に影響がでないかが心配。親御さんも一人で子

育てになり、ストレスがたまるのではない
か。まだすべがない。

・3月21日に福祉会館で予定していた少子
高齢化社会対応市民フォーラムは延期ではな
く中止にしました。来年はNPO創設20周
年になるので、何か記念になるフォーラムを
他の団体と共同で開催できないか、検討し
て、日程を決めたいと考えています。

・全ての活動を自粛しているため、会費の免
除を行っている。対策はまだ行っていま
せん。

・長期に教室が開催出来ない事による収入
減。事業の見直しを行う。

・自然葬実施件数の大幅減少とそれに連動す
る収益の激減など。対策はこれから検討する
予定です。

・当面の会議等は中止しております。総会等
の内容に付いては理事会に事務局より私案を
おくり審議頂いており議案の作成をしており
ます。法務局及び東京都に提出する資料も
事務局に制作し理事会承認を経て提出いた
します。

・予定していた事業スケジュールの見直し。

・練習会場として利用させていただいている
公民館、元気村等の休館により3月1日よ
り集まっての練習も行えなくなり、中止しま
した。開催告知を開始する直前だったので部
外への影響はありません。

・参加要請に対して、体のいい断りになる。

・5月まで嫌忌（延期？）する。

・イベントの延期

・小平市民文化祭への参加が困難になりそ
う。

・個別に対応する必要がある家族の参加が難
しくなった（騒がしいところが苦手な子供、
会話が必要な場所に抵抗のある子供が参加し

づらい）ので、別途個別対応も出来る体制づ
くりが急務。

・スケジュールはじめ全ての会合等の見直し

・危機管理・防災の中に感染症対策を加え、
現在資料を収集し皆で考えられるように準備
中

・新型コロナが、ペットにも感染する？まだ
はっきり分かっていないので、これからいろ
んな問題が出てくると思います。

・練習会の中止

・事業の開催ができないので、運営費に影響
が出る。場所があつての事業体なので、影響
が出なくなるまで待つしかない。

・感染終息の見通しがつくまで、当面ワーク
の中止を考えています。関係者への連絡や
ブログ等の発信は続けていこうと思っていま
す。

・大きなものは、定期総会、教養・文化講座
などありますが、柔軟に対応します。

・収入減、年間を通して計画していた会議や
研修会等の見直し

・予定していた事業スケジュールの見直し、
収入減、感染による対応人員の減少と他の職
員の業務増加

・我々よりも、市内の飲食店等の店舗の動向
が気になる。我々の力には限界があるため市
全体での取り組みが急務！

・事業スケジュールの延期

・スケジュールの見直し、活動されている
方々（高齢者）の安全性を確保することが必要

・予定していた会場等の中止または延期

・新規サービス事業の延長。行事等の制限。

- ・開催は毎年 12 月であるが、長引くと準備に影響がでる。
- ・計画していた事業（複数）が実施できなくなることに対して、関係者への周知と丁寧な説明。
- ・衛生面での再度見直し、再確認。イベントの再度ご案内。アポの再調整。等
- ・事業実現の可否が不透明、実施不可の場合は、収入減となる。
- ・参加者の学びの意欲が薄れるのではないかと懸念がある。参加者の技量上達に遅れが生じる。実施会場はこの場所と決めているので、対策は講じる手立てはありません。再開を待つのみです。
- ・5月の集まりの予定を変更するか否か。
- ・定例のサロン（高齢者のたまり場）が2回と4月に予定した総会が5月以降に延期された。
- ・年間行事予定を行うことができなくなる。来年度に繰り越し可能なものは繰り越す。
- ・私が所属している14団体はすべて市内の公共施設を使用しています。従って今のような休館・使用禁止が続くと何もできないのが現状です。敵の姿が見えない世界戦争状態なので、治療できる薬やワクチンができるまでの戦いだと思えます。終息が年を越さなければいいな、と思っています。
- ・3月開催の時は参加者が170人を超えた。屋外なのでニーズがあるが、スタッフが少ないため、4月は対応できないと判断した。
- ・子ども食堂は室内なので無理と判断した。こちらもニーズがあるので、テイクアウトや弁当で対応して続ける。新型コロナウイルスの情報を見ながら、きめ細やかに対応する。
- ・基本は行政の指示に従うが、自主的に人員を削減したり、イベントを中止したりなど増えていくと予想している。
- ・未定
- ・連盟への活動報告や手続、市の文化協会への活動報告、本年度の支部の総会など、まだ開催できずにあります。
- ・災害支援に対して、経済的な支援を主に実施しているが、災害地への訪問が難しい。新型コロナウイルスが収束するまでボランティア活動は行わない。
- ・新型コロナウイルスの感染の状況しだいでは今後の日程が変更になる可能性が出てくる。
- ・人数が多いので狭い教室の場合は見直しが必要。広い教室が確保できない場合は対策が必要。(案)1回1回の人数を減らす。1回当たりの時間を減らす等
- ・5月16日イベントを開催したく計画していますが、会議室が使用できるか不明です。
- ・日程の変更
- ・差し迫った影響はないと考える
- ・施設への訪問自費サービスはほぼ中止なので、そこに派遣するヘルパーは他の利用者宅に派遣します。事業所としてより、個々のヘルパーの収入減が考えられます
- ・予定していた事業スケジュールの見直し
- ・プログラムの見直しと夏休みなどを利用して、今活動ができない分の穴埋めを考えている。宿題形式も考えている。
- ・施設入所の利用者さんの外出介助がなくなり収入減になっている。今後も大幅な収入減が見込まれる
- ・対象が子どもさんたちですので、新型コロナウイルスのことが落ち着くまで待つしかないと思っています。
- ・特になし(2件)

Q4. 団体の活動再開の時期はいつごろを考えていますか？

小平市内には活動を行える公共施設がたくさんあり、日頃からそこが市民活動の重要な拠点であることから、公共施設（あすぴあや学校も含む）の開館を待って再開したいと考えている団体が多い一方で、そうなった時でも団体メンバーの高齢化を考えると慎重にならざるを得ないという団体も複数ありました。ただ、待ち望んでいる開館がいつになるのかは、日々刻々と変化する感染拡大状況から考えると、予測が難しい状況です。そんな中でも、縮小しつつも活動を継続している団体や、団体の得意技を活かして活動を展開している団体もありました。

- ・ 1年後
- ・ 公共機関が再開したら再開したい
- ・ 東京都の緊急事態宣言が発令された場合は全ての業務を休業し、収束後に再開
- ・ 6月以降の予定。今後の状況をみての再開を検討しています。
- ・ 津田公民館が開館したら再開するつもりです。
- ・ 公共施設が使えるようになったら再開したい。
- ・ 学校が放課後子供教室を再開したら、活動を再開する。
- ・ 6月くらいには再開をしたいが（総会など）
- ・ 今のところ活動は縮小しつつも継続できている。
- ・ あすぴあ会議室の使用が再開されたら行きます。
- ・ 公共施設が開館したら再開したいと思うが、70代以上のメンバーが複数おり感染への不安がなくなるまでは難しいと感じている。
- ・ 福祉会館の開館時期であるが目論見としては6月から再開か？
- ・ 活動しています。お弁当アプリ、ライブ配信の手伝い、等々
- ・ 活動再開は未定。オンラインでの活動も視野に入れている。
- ・ 子育て広場の開催については、公共施設が再開しても、慎重に考えている
- ・ 秋ごろかな!?
- ・ 公共施設が開館されたら、再開したい。
- ・ シニア世代が多いので、感染の恐れが全くなくなるまでは再開しません。状況が良くなればなるべく早く活動したいですが、今の状況で先（秋も含めて）が不透明で何とも言えない。
- ・ 暮らしの維持は休むことができない。様々な行事など通常にもどすには夏以降
- ・ 公民館が開館したら再開したい。
- ・ 月次の理事会は施設が開館したら再会したい。それまでは、メール、FAXでの意見交換を考えている。例年5月に総会を開催してきたが、資料づくり等の準備はするが状況次第では6月に延伸することも考えている。
- ・ 学校が開始してから、練習再開したい。
- ・ 市民水泳教室は9月再開を予定している。
- ・ 当面は自粛し、10月の20周年式典までは活動を停止いたします。

・大学の授業開始時期に合わせて、大型連休明けの再開を考えています。

・政府や東京都が終息宣言なり、安全宣言を発表してからか…まだ未定です。

・公共施設が開館したらすぐにでも練習を再開し 11月の定期演奏会に向け準備したいと考えていますが、高齢者が多い団体ですので、安全を確信できるまでは自粛するべきかとも思います。今はまだ判断基準もなただ収束を待つばかりです。

・1人でも交流会に参加者がいれば、随時、行う予定。

・6月ころ

・公共施設が開館したら再開予定

・インフルエンザが収束したら。

・小平市の公共施設が利用できるようになったら再開する。

・小中学校が平常通りになり、公共施設が開館したら、これまでの活動を再開したい。

・公民館の開館など

・公共施設の再開が最低条件、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を確認しながら再開

・国が、はっきりとした指針を出さないの
で、今後も自粛は続けます。高齢者も多くな
ってきているので、公共施設が開館されたと
しても、新型コロナの感染の可能性もあるの
で、皆さんのリスクを考え、再開の目途を決
めていません。

・公共施設が開館したら再開したい

・4月の前半はすべて休みの予定でいるが、
今後長引くことも考えられる。公共施設の開
館は一つの目安になる。

・情勢を見つつの判断になると思います。

・終息宣言が出てから活動を再開します。

・終息宣言が出てから活動を再開します。

・活動は継続している。

・活動は継続している

・公共施設が開館したら、再開したい。

・安全が確保され、公共施設の利用が再開で
きたら再開したいと考えております。

・情勢を踏まえた上で、都度判断を行う。
(行政からの指導にもよる)

・会議は公民館を利用しており、公民館の利
用再開に合わせて活動を開始。

・市民総合体育館が開館したら、計画している
大会等の事業を順次実施していきたい。

・訪問は全く予定立たず。コミュニティの場は
政府の外出自粛要請が解除されてから。

・10月中旬に計画している書道展に向け、そ
ろそろ準備を始めるタイミングであるが、先が
見通せないのが実情である

・利用許可が下り次第再開します。

・活動の場は公共施設を利用していないので
特に問題はない

・収束するまで活動はお休みします

・5月7日(木)以降に活動を再開したい。

・公共施設の休館・使用禁止がなくなるまでは
何もできません。

・プレーパークは様子を見ながら開催するか
否か、判断していく。

・公共施設が開館されたら再開を予定してい
るイベントがあります。

・新型コロナウイルスが収束した後

・ただちに即、再開したいが、6月頃になるのかと思います。

・公共施設が開館したら再開したい。

・公共施設の利用が可能時点で活動再開を考えている。5月の総会、11月の創立20周年記念行事は実行できるよう希望している。

・公共施設が開館したら再開

・公共施設の再開を待って考える

・私たちの事業所は、今のところ活動が中止することは考えにくいです。

・公共施設が開館したら再開したい。

・新型コロナウイルスの収束後、公共施設が開館したら活動再開したい。

・いきいき協働事業による連続講座を秋以降の開催に向けて準備したいが、打合せができず進まない。

・遅くとも5月には再開したい、春の公民館まつりが中止になったのは残念、秋の津田公民館まつりはぜひ開催してほしい。

・遅くとも5月には再開してほしい。5月末に講演会を予定しているので、なんとか実施できればと思います。

・訪問介護事業所の為、現在も活動は続けている。

Q5. 今回の件に関し、今後あすぴあ等によるサポート内容について必要と考えるものがあればご記入下さい。

公共施設や学校を含む市全体の情報もちろんですが、他の団体の様子（工夫していることや対応策など）や、活動を再開した際の感染予防の方法・行動基準を知りたいという声が多く寄せられ、情報発信面でのサポートが必要とわかりました。印刷機や会場の使用に関しては、要望があることは重々承知していますが、緊急事態宣言が出ており、できるだけ外出を控えることが最大の目的ですので、たとえ少人数での印刷でも控えたほうがよいと思われます。

・ イベントを行う際はまたポスターチラシを掲示していただきたいです。広報面において

・ 公共施設及び学校の情報を出し続けて欲しい。

・ 各事業所、団体の情報を送ってほしい。

・ 今のところ思い当たらない。

・ 他団体で工夫していること、対応策などをお知らせいただけるとありがたいです。

・ アンケートをしてくださるなど、あすぴあさんと繋がっているという意識づけがとても心強いです。再開時の感染予防の具体的な方法は知っておきたいです。宜しく願います。

・ もし運営が厳しくなる団体があれば、皆さんでサポートしていきたいですね。

・ 総会開催が危ぶまれるので、その対応策などのアドバイス。様々な助成金などのわかりやすい紹介。不安や差別を増殖しない基本姿勢の保持の市民意識の警鐘。

・ ボランティア活動自体がリスクになるが公共施設以外の個人宅やメール等で運営部隊は会議を実施している。他の団体の実態を知りたい。

・ 今はまだわかりません。

・ 他の NPO 団体で自発的活動のなされていない団体のフォローが必要と考えます。

・ 積極的な参加をお願いしたい。

・ 必要な時に相談

・ 宣伝等の会員募集等のお知らせ

・ 輪転機の貸し出し

・ 本件について当団体として特別必要なことはありませんが、1日でも早く事態が収束することを祈ると同時に、市民活動支援センターの再開を心より応援しております（本当にお疲れ様です…）。本年度もお世話になります。

・ 十分な体制を取った上で会合を開く団体への会議室の貸出

・ あすぴあは、小平市からの情報を入手しやすい立場にあります。小平市のHPを見ても不親切で今後の予定が見通せない。市からの市民活動への情報提供を早めに発信して貰いたい

・ 新型コロナの感染に関する確かなことを教えていただきたい。いまだにはっきりと解明できていない中での、入学式だのはやるが、授業は延期、これが私には考えられない。危機感を持っていないのか、やっぱり日本だな～と思ってます。いずれにしても、感染者数、特に小平市周辺での感染者などもお知らせ頂けると幸いです。

・ 今回のアンケートはとてもよいと思いました。

・ いつも貴重な情報を下さり大変助かっております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

・公共施設開館後の施設利用の留意点については、引き続きの注意喚起。消毒液とマスクの配備。

・あすびあさま含め、関係機関の皆さまと情報を共有しながらご相談させてください。

・各団体が活動を中止しており、再開時に会議の場所などの予約がかなり集中すると思う。難しいかもしれないが、公民館、福祉会館、地域センター、あすびあも含めた運用の柔軟化を検討していただければうれしい。

・現段階ではオンラインで各団体が今回の事に影響を受け、新たに取り組んでいる事や今後の活動予定などの情報交換。終息後は交流会、意見交換会、イベント（小さくても）等、改めて繋がる場所の提供。

・所属団体に対する公民館・地域センター・福祉会館の使用料金の免除継続

・あすびあも同じ被害を受けているので悩みは同じだと思います。しいて言えば行事の中止・再開の案内をしていただければと思います。

・現在のところは、特にありません。

・継続的に行っている教室でのトレーニング、学習会などにおける、参加者の行動基準を考えているが何かアドバイスが欲しい。

・公共施設の再開に向け、「3つの密」にならないように利用することはできないだろうか。一律に利用不可ではなく、少人数で距離を保持しての利用はできないだろうか。あすびあ印刷室は独立した部屋なので印刷機の利用だけでも再開する方向で考えてほしい。集まることを自粛することで会のつながりが弱くならないように、せめて会報を印刷して配布し、少しでも市民活動の動きをつくりたいと思っている団体があると思う。

・特になし(23件)

Q6 その他、今回の新型コロナウイルス感染拡大について、団体として気になっていることなどをご記入ください。

・たくさんあるため絞れませんがとにかく一日でも早い終息を願うばかりです。また、皆さまとご一緒に元気で楽しい催し物を開催し、地域を盛り上げるお手伝いが出来ればと思っております。

・このような状況に陥った時点で消毒液を購入するのは困難なので、その点は国の対応で改善していただけるとありがたいです。

・特になし、ご心配いただきありがとうございます。

・高齢者の団体だから今後の感染拡大が気になる。

・一日でも早く終息することを祈ってます。

・ウイルス感染の波が施設に到着する前に自主的に施設での営業は中止したほうがよいのではないかと気にしながらの活動となっています。

・地域センターが休館により、例会ができないため活動休止（3月～4月）（春季将棋大会、4月26日）の状態です。仕方がないとは思いますが・。

・活動再開の時期。

・兎に角何もかもじっとしていなければいけなく、こういうこともあるのかと新しい体験であった

・今まで時間がなくてできなかった仕事がこの機会にできたこと（ピンチをチャンスにできた）。

・目に見えないものなので、しかもいつ終息するかがとても不安です。サービスが続いている以上、うつすこともうつされることも考えられます。自分たちの事務所から感染者をださないよう、日々手洗い・うがい・消毒と気が抜けない毎日です。

・非正規雇用やアルバイトなど、仕事がなくなり収入減あるいはゼロにより生活困窮に陥る、仕事が時短や在宅になることで家庭内の虐待やDVの増加が起こる、またそれらの相談先（相談時間や訪問など）や避難できる場所がコロナ感染拡大予防対策で縮小されてしまうことによる影響がとても気になっている。学校の休校と外出自粛で、すべての子どもたちの心身への気遣いが必要です。長期になることでのストレスと思春期の心の問題について専門家からの情報提供が今こそ必要だと思う。

・市内の関係施設の閉館について市で決定後、速やかに小平市のHPに掲載してほしい。今回の場合のように、情報が逐次変化し、HPからしか情報入手できず困惑している。あとで知人から情報が入り、口コミで3日前から知っていたと伺いました。タイムリーに掲載をお願いします。

・当事業所（訪問介護事業所）は高齢者や障がい者への濃厚接触が多く、感染するまたはさせるリスクが高く、精神的な負担が大きい。利用者さんやケア者を守りたい気持ちは強くとも、感染しても症状のない方がいらっしゃることで潜伏期間中も感染するという点で食い止めることが非常に難しい。事業を休止することもできず、不安を抱えながら活動を続けている。

・特になし（3件）

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

